

平成22年度当初予算における未来まちづくり推進枠予算要求の内容と査定結果【予算措置を見送ったもの】

保健福祉局 予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
【多様な保育ニーズへの対応】 休日保育事業	休日保育の実施箇所数を5箇所から6箇所に拡充する。 <成果目標> 保育所における休日保育の実施箇所数を拡大することにより、保護者の就労等に伴う日曜・祝日等の保育需要に対応していく。	1,510	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
京都府助産師会館整備 助成	京都府助産師会に対し、平成22年度に建設される新助産師会館整備に対する補助を行う。 <成果目標> 助産師の専門知識を生かした各種子育て支援活動の更なる充実	15,000	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
肺炎球菌ワクチン接種	高齢者がインフルエンザに感染した場合、肺炎を併発して重症化することがあるが、その原因としては肺炎球菌によるものが多いため、高齢者の肺炎球菌予防接種費用を助成する。 <成果目標> 高齢者の肺炎の重症化を防ぐ。	27,360	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討

※この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。